

仙台高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	電子機器	
科目基礎情報							
科目番号	0274			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	知能エレクトロニクス工学科			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材							
担当教員	鈴木 隆之						
到達目標							
各種の電子機器の仕組みや動作原理について理解し，レポートの形にまとめることができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安(可)		未到達レベルの目安
評価項目1	身近にある幾つかの電子機器の仕組みや動作原理について十分に理解し，レポートの形に分かりやすくまとめることができる。		身近にある幾つかの電子機器の仕組みや動作原理についてある程度理解し，レポートの形にまとめることができる。		身近にある幾つかの電子機器の仕組みや動作原理について最低限度理解し，レポートの形にまとめることができる。		身近にある電子機器の仕組みや動作原理について理解したり，レポートの形にまとめることができない。
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	ディスプレイ，半導体メモリ，ハードディスク，光ディスク，デジタルカメラやビデオ，各種プリンタ，バッテリー，センサ等，身近な情報関連電子機器の構造や仕組みについて，より詳細に学習する。 3学年の「電子機器基礎」で学んだ情報家電や情報機器等についての基本的な仕組みの理解に加え，その後学んだより高度な専門知識を基に，改めてそれらの機器の原理や特徴について理解を深めることを目標とする。						
授業の進め方・方法	本科目は，電子機器基礎とはじめとして，光工学，集積回路基礎，応用電子回路などと関連する。 授業は，知能エレクトロニクス工学科の全教員が担当（年度により担当者を入れ替え）し，それぞれの専門の立場から，関連する身近な電子機器の仕組みや動作原理について1回講義を行う。翌週，講義内容について，学生各自がまとめて，担当教員にレポートとして提出する。この形態を隔週で7回程度繰り返す。レポートの提出は必須である。						
注意点							
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	ガイダンス				
		2週	テーマ1：講義				
		3週	テーマ1：レポート作成				
		4週	テーマ2：講義				
		5週	テーマ2：レポート作成				
		6週	テーマ3：講義				
		7週	テーマ3：レポート作成				
		8週	テーマ4：講義				
	4thQ	9週	テーマ4：レポート作成				
		10週	テーマ5：講義				
		11週	テーマ5：レポート作成				
		12週	テーマ6：講義				
		13週	テーマ6：レポート作成				
		14週	テーマ7：講義				
		15週	テーマ7：レポート作成				
		16週	予備日				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	課題	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	20	20
専門的能力	0	0	0	0	0	40	40
分野横断的能力	0	0	0	0	0	40	40